

(文部科学省平成27年度委託事業)

「総合的な教師力向上のための調査研究事業」

— 初任者研修の抜本的改革 —

# 報 告 書

平成28年3月

北海道教育委員会

## 目 次

1	実施テーマ	1
2	取組の目的・具体的内容・実施体制	1
3	実施計画	4
4	取組・実践紹介	15
5	実施記録	24
6	ジョブシャドーイングに係るアンケート結果	34
7	類型毎のメリット・デメリット	53
8	成果と課題	54

## 1 実施テーマ

ジョブシャドーイングの取組による初任者研修の抜本的改革

## 2 取組の目的

今後10年で約3分の1の教員が入れ替わる大量退職・大量採用期を迎える中、若手教員の資質能力の向上、先輩教員からの教育技術等の継承は、喫緊の課題である。

こうした中、初任者の配置については、人事異動の後補充の一環として扱う従前の方式を改め、優秀な指導者の存在や学校全体での指導体制の整備等を前提とした取組を推進する必要がある。

このような現状を踏まえ、教科指導はもとより、学級経営や保護者とのコミュニケーションに優れ、かつ後進の育成に情熱を持つ教員を初任者指導教諭として、その指導方法や仕事術を初任者が徹底的に習得する「ジョブシャドーイング」を実施するとともに、その手法を取り入れた実践例を普及・発信することにより、学校における継続的な指導体制や初任者が研修に専念できる校内体制の整備を図るための取組を調査研究する。

調査研究2年目では、初任者・2年目・初任者指導教諭に対し、このジョブシャドーイングの効果等についてアンケートを実施し、その結果をグラフ化し検証を行った。

## 3 事業の具体的内容等

(1) 「学校力向上に関する総合実践事業実施要綱」(平成25年3月28日教育長決定)第2の1の実践指定校のうち、次の学校を実践推進校と位置付けるとともに、調査協力校を指定し、連携しながら事業を実施する。

2年目においては、実践推進校1校、調査協力校4校の計5校を入れ替え、ジョブシャドーイングの普及・啓発に努めた。

	学校名	指導体制	備考
実践推進校	旭川市立大有小学校	C	H26より継続
	名寄市立名寄小学校	B	〃
	網走市立網走小学校	C	〃
	大樹町立大樹小学校	D	〃
	別海町立別海中央小学校	C	新規
調査協力校	砂川市立砂川小学校	A	〃
	旭川市立啓明小学校	A	〃
	伊達市立伊達小学校	A	〃
	帯広市立稲田小学校	A	〃
	釧路市立芦野小学校	C	H26より継続

※指導体制については、(4)で説明。

(2) 実践推進校、調査協力校における初任者及び初任者指導教諭の取組

初任者
<p>① 1年間、原則として学級担任や単独授業はもたないこととし、毎日指導教員等とチームティーチング（TT）を組むなど、授業内外の各種業務の総体を常に間近で観察し、頻繁に省察の機会をもつなど、指導教員の指導方法等について総合的・徹底的に研修する。</p> <p>② 初任段階教員研修における学校研修計画にシャドーイングを位置付け、説明・発問・指示、ノート指導、発声方法、机間巡視、教材研究、指導案・週案づくり、学級通信づくり、通知表の所見欄の記入、校務の効率的処理、家庭訪問や保護者対応、地域との連携等、教員として必要なことの全てについて計画的に研修する。</p> <p>③ 初任者は、毎日の省察のための記録（リフレクションシート）を作成し、2年目からの独立に向けた必要な措置を行う。</p>
初任者指導教諭
<p>① 初任者指導教諭等は、初任者に対して、北海道教育委員会が後援する民間教育研究団体等の教員セミナーへの積極的な参加を促進する。</p> <p>② 初任者指導教諭等は、優れた教育書を初任者に紹介し、自己の実践と比較分析させるなど、書籍や文献などを有効に活用した指導を行う。</p> <p>③ 初任者指導教諭等は、初任者に対し、良い実践、悪い実践を具体的に示すなど、差を意識させる指導を行う。</p>
その他
<p>① 平成25年度文部科学省委託事業「教員の資質能力向上に係る先導的取組支援事業」の成果を参考として、研修内容、省察、リフレクションシートなどを工夫する。</p>

(3) 初任者研修の抜本的改革に関する調査研究事業推進協議会

実践推進校及び調査協力校による「推進協議会」を年2回開催。

共通の留意事項等を整理するとともに、外部講師のアドバイスを得ながら、協議を通して、各学校の取組状況等を情報共有等を行った。

第1回 平成27年7月8日(火)	第2回 平成28年2月1日(月)
<p>【内容】協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 類型ごとに応じた年間プログラム</li> <li>・ リフレクションシート</li> <li>・ 講演「学級づくりについて」 元横浜市初任者アドバイザー 野中 信行 氏</li> </ul>	<p>【内容】発表・協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間の取組</li> <li>・ 取組を通しての成果と課題</li> <li>・ 講演「学級軌道に乗せる『授業づくり』を考える」 元横浜市初任者アドバイザー 野中 信行 氏</li> </ul>

(4) 指導体制

類型	主な内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級を担当する教諭を初任者指導教諭とする。初任者は副担任とする。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級を担当する教諭、教務主任、研修主任等を担当する教諭の2名を初任者指導教諭とする。</li> <li>・ 2名の教諭は効果的・効率的に実施できるよう役割分担などを工夫する。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教務主任、研究主任等を担当する教諭を初任者指導教諭とする。</li> <li>・ 初任者は初任者指導教諭の指示、指導の下に他の教諭とのシャドウイングも行う。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他</li> </ul>

### 3 実 施 計 画

各学校における基本方針、指導体制、校内体制の工夫などを記入した実施計画書を掲載

実践推進校 5 校

調査協力校 5 校

## 平成 27 年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	旭川市立大有小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

卓越した指導力のある教員が初任者をマンツーマンで指導し、効果的、効率的な研修を実施するとともに、学校における継続的な指導体制や初任者が研修に専念できる校内体制の整備を図る取組を実施する。

## 2 指導体制

指導体制の類型	C	初任者指導教諭名	大野 美稚子	高橋 憲嗣
Dの具体的な体制				

※ 指導体制の類型は別紙 3 の留意点にある A～D から選択してください。B、C を選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。D を選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役 職 等	主 な 役 割
校 長	ジョブシャドーイングを統括し指導方針を作成，初任者の指導及び助言
教 頭	実施計画の作成，外部講師・近隣校との連絡・調整，初任者の指導及び助言
初 任 者 指 導 教 諭	シャドーイングの計画及び指導と評価，学校計画研修への位置付け リフレクションノートの指導及び評価
教務主任、 研修主任等	TT の計画と実施，指導時数の管理
同学年の教諭	教科等の指導，学級経営の指導

## 4 使用するテキスト、教育書

自校の教育課程，教育計画，  
平成 27 年度版「新しい先生のために～学校教育の手引」（北海道教育庁学校教育局編）  
小学校学習指導要領（平成 20 年 3 月告示），小学校学習指導要領解説総則編（平成 20 年 8 月）  
生徒指導提要（平成 22 年 3 月），新卒教師時代を生き抜く学級づくり 3 原則（野中信行）  
教師の作法 指導（野口芳宏）等

## 5 指導上の工夫

シャドーイングの中心は当該学級の担任が行い，初任者担当教諭と教務主任による複数体制で指導に当たる。

初任者を担当学年，学級の副担任とし，授業時間だけでなく，学級経営や学級事務に関わりながら研修を実施する。

初任者については，TT の T 2 として配置して，当該学級の授業だけでなく，すべての教育活動等の指導を複数の教諭が行いながら研修を実施する。また，時期や単元によって，TT の T 1 とし  
ての経験をさせながら，指導をしていく。

## 平成 27 年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	名寄市立名寄小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

- ・ジョブシャドーイングを通して、初任者に教師として必要な専門的知識及び基礎的技術を身に付けさせ、実践できるようにする。
- ・実践と評価を通して職務へのやりがいを味わわせ、初任者が教育者としての立場や使命の自覚できるようにする。

## 2 指導体制

指導体制の類型	B	初任者指導教諭名	手塚 圭 林 琢磨	秋吉 ゆかり
Dの具体的な体制				

※ 指導体制の類型は別紙 3 の留意点にある A～D から選択してください。B、C を選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。D を選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役 職 等	主 な 役 割
校 長	初任者の育成に係わる方針の提示、初任者の育成に向けた取組全体の総括的な把握、取組の改善充実に向けた全教職員への指導
教 頭	校内における初任者の育成に向けた 5 カ年計画の整備、初任者の育成に向けた進行管理、関係部署・関係協職員への指導
初 任 者 指 導 教 諭	初任者とのチームティーチングによる授業・学級経営・保護者対応等、担任業務に関わるシャドーイングを通して、必要な知識・技能を伝達し、指導にあたる。
教務主任、 研修主任等	チームティーチングの計画と実施、メンター研修の計画と実施、初任者授業交流の日程調整
同学年の教諭	配置なし

## 4 使用するテキスト、教育書

- ・ 小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説
- ・ 学校教育の手引き（新しい先生のために）
- ・ 新卒教師時代を生き抜くシリーズ（野中 信行 編・著）
- ・ ヒドゥンカリキュラム入門（多賀 一郎 著）
- ・ 生徒指導提要
- ・ 初任者研修実務必携 2015

## 5 指導上の工夫

- （1）主となる初任者指導教諭との連携を図り、各週の時間割作成などの事前の打ち合わせなどの機会を活用してマンツーマンで指導することにより、効果的・効率的な研修を実施する。
- （2）メンター研修の機会を生かすなどし、全職員で組織的に初任者を育成する雰囲気を作る。
- （3）初任者はシャドーイングの記録をノートに残すことで、自己の視点や気づきなどを蓄積していく。蓄積したことを記録簿に起こすことで、認識の深化・統合を図る。

## 平成 27 年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	網走市立網走小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

- ・優れた指導力と後進の育成に情熱を持つ指導教諭によるジョブシャドーイング研修を通して、初任者に教師として必要な専門的知識及び基礎的技術を身に付けさせる。
- ・組織的、継続的な指導体制と初任者が研修に専念できる校内体制を整備するとともに、実践的な研修を通して、教科等指導力、学級経営力、生徒指導力を身に付けさせる。

## 2 指導体制

指導体制の種類	C	初任者指導教諭名	渋谷 渉	上杉 一弘
D の具体的な体制				

## 3 校内体制の工夫

役職等	主な役割
校長	・ジョブシャドーイングをはじめとする初任者への指導の在り方についての方針を示し、初任者の育成に向けた学校体制、取組を統括する。
教頭	・実施計画を整備するとともに、ジョブシャドーイングをはじめとする初任者への指導の状況を把握し、初任者指導教諭等に対し指導助言を行う。 ・初任者の育成に向けた取組の進行管理と、主任等の関係教員への指導助言を行う。
初任者指導教諭	・日常の教科指導、学級経営、生徒指導、保護者対応等についてシャドーイングを実施し、計画的、継続的に指導助言を行う。 ・リフレクションノートを活用した初任者の省察に対する指導助言を行う。
教務主任、研修主任等	・効果的な研修の実施に向け、教頭、指導教諭と連携を図りながら研修全体をコーディネートする。 ・研究理論に基づく授業実践の日常化に関する指導、学校全体で「徹底・継続」して取り組む内容についての指導等を行う。
同学年の教諭	・初任者指導教諭と連携した指導を行うとともに、メンター研修に携わるなどして初任者の補助的な指導を行う。

## 4 使用するテキスト、教育書

- ・小学校学習指導要領、言語活動の充実に関する指導事例集、生徒指導堤要(文部科学省)
- ・全国学力・学習状況調査授業アイデア例、評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(国立教育政策研究所)
- ・学校教育の手引、教育課程改善の手引(北海道教育委員会)
- ・初任者指導教諭が所有する教育書、初任者指導教諭が選定した教育書

## 5 指導上の工夫

- ・初任者が T2 教員として初任者指導教諭等と T T を組み、初任者指導教諭の業務を間近で観察できるようにする。
- ・指導案の作成、授業実践、振り返りといった一連の過程を繰り返し、省察の機会をもつことで実践的で効果的な指導を行う。
- ・初任者指導教諭はもとより、同学年の教諭、教務主任、研究主任等を加えて、学校全体で初任者の育成を行う。

## 平成 27 年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	大樹町立大樹小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

指導力ある教員が初任者をマンツーマンで指導し、効果的な研修を実施するとともに、学校における継続的、組織的な指導体制や初任者が研修に専念できる校内体制の整備を図ることにより、初任者の教科指導力、生徒指導力、学級経営力など、教員としての資質能力の向上に資する。

## 2 指導体制

指導体制の種類	D	初任者指導教諭名	田村哲也	
Dの具体的な体制	校内に配置された初任者段階研修指導教諭を中心に所属学級・学年の担任教諭、そして全校教職員で適時指導を行う。			

※ 指導体制の種類は別紙 3 の留意点にある A～D から選択してください。B、C を選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。D を選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役職等	主な役割
校長	初任者の育成に係る方針の提示及び初任者の育成に向けた学校体制・取組の統括 初任者への講話
教頭	初任者の育成に向けた取組の進行管理 関係教職員との調整 初任者への全体指導
初任者指導教諭	研修の指導計画の作成 初任者との日常的なチームティーチングによる授業 学級経営全般についての指導及び助言 リフレクションの指導
教務主任、 研修主任等	初任者の育成に向けた取組の校内教職員、保護者等への周知 他校の公開研究会や合同研修への参加に係る連絡・調整 他学級への授業参観の調整 初任者への本校の授業研究等についての説明
同学年の教諭	初任者への定期的な授業公開、教科指導、学級経営指導、及び協議

## 4 使用するテキスト、教育書

- (1) 各教科の教科書及び指導書
- (2) 小学校学習指導要録及び解説
- (3) 平成 27 年度版学校教育の手引き
- (4) 小学校教育課程編成の手引き
- (5) 大樹小学校学校経営計画

## 5 指導上の工夫

- (1) 初任者が T2 教員として初任者指導教諭等と TT を組み、指導案の作成や実際の指導、授業後の振り返り等を行うことを通して、初任者指導教諭等の業務を間近で観察できるようにする。
- (2) 学校力向上に関する総合実践指定校として、加配状況を生かした一部教科の専科制を導入している本校の特色ある授業実践を間近に観察し、ベテラン教員の良さを積極的に学び取れることができるようにする。

## 平成27年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	別海町立別海中央小学校
-----	-------------

## 1 基本方針

初任者に教師として必要な専門的知識及び基礎的技術を身に付けさせ、資質能力の向上を図る。指導教諭等を中心とした全教職員による初任者研修を計画的に実施する。

## 2 指導体制

指導体制の類型	C	初任者指導教諭名	山田 妃呂美	今井 寛	古内 祐介
Dの具体的な体制					

※ 指導体制の類型は別紙3の留意点にあるA～Dから選択してください。B, Cを選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。Dを選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役職等	主な役割
校長	・ジョブシャドーイングをはじめとする初任者への指導の在り方についての方針を示し、適切な実施となるよう全校体制を整え取組の統括を行う。
教頭	・ジョブシャドーイングをはじめとする初任者への指導の状況を把握し、初任者指導教諭等に対し指導・助言を行う。
初任者指導教諭	・ジョブシャドーイングを含む学校計画研修の計画及び指導、連絡調整を行う。 ・初任者との日常的なチームティーチングの授業を通し、学級経営・教科指導等の基礎の指導を行う。 ・初任者の省察を促すリフレクションの指導を行う。
教務主任、研修主任等	・教育課程編成等に関わる指導及び初任段階研修に関わる校内の補助体制を整える。(教務主任) ・校務分掌業務について、担当業務の指導及びシャドーイングを通じた指導を行う。(生活部長) ・初任者研修と連動した校内研修の計画と実施、及び校内研修の進め方について指導を行う。(研修部長)
同学年の教諭	・初任者への授業公開、協議を行う。 ・学年会を通し、教科経営、学級学年経営、保護者対応等についての指導を行う。

## 4 使用するテキスト、教育書

- ・「小学校学習指導要領」、「小学校学習指導要領解説」(文部科学省)
- ・「学校教育の手引ー新しい先生のためにー」(北海道教育委員会)
- ・「小学校教育課程改善の手引」(北海道教育委員会)
- ・「特選シラバスレシピ」「言語活動実践事例集」(根室教育研究所)
- ・その他(国立教育政策研究所発行各種パンフレット・参考資料等)

## 5 指導上の工夫

- ・初任者指導教諭は、学校力向上に関する総合実践事業による合同初任者研修、校内研修、シャドーイングを含む学校計画研修全般の計画及び実施を担当し、全教職員による初任段階研修をコーディネートする。
- ・シャドーイングは、初任者がT2としてチームティーチングを行う学年の学級担任が行い、授業の他、事前の準備・打合わせ、事後の振り返りの他、授業実践・学級経営全般にわたる業務において日常的に行う。
- ・必要に応じて担当校務分掌部長のシャドーイングを取り入れ、分掌業務等の実務を行いながら研修できるようにする。



## 平成27年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	砂川市立砂川小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

ジョブシャドーイングや指導教諭との省察の機会を通して、教師として必要な専門的知識及び技術を身に付けさせることができるようにする。また、教師観、児童観、指導観などの素養を養うとともに、教育者としての立場や使命を自覚できるようにする。

## 2 指導体制

指導体制の種類	A	初任者指導教諭名	北河 剛治	
Dの具体的な体制				

※ 指導体制の種類は別紙3の留意点にあるA～Dから選択してください。B、Cを選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。Dを選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役職等	主な役割
校長	①初任者の育成に係る方針の提示及び初任者の育成に向けた学校体制・取組の統括 ②初任者への講話
教頭	①実施計画の整備、初任者の育成に向けた取組の進行管理、関係教職員への指導 ②初任者への全体指導
初任者指導教諭	①初任者との日常的なチームティーチングによる授業 ②学級経営全般についての指導及び助言、研修の指導計画の作成 ③初任者の省察を促す記録化 ④リフレクションの指導
教務主任、研修主任等	①初任者の育成に向けた取組の校内教職員、保護者等への周知 ②他校の公開研究会や合同研修への参加に係る連絡・調整 ③他学級への授業参観の調整、初任者への本校の授業研究等についての説明
同学年の教諭	・初任者への定期的な授業公開、協議

## 4 使用するテキスト、教育書

- ①学級経営に関する書籍
- ②授業づくりに関する書籍
- ③児童理解及び生徒指導、教育相談等に関する書籍
- ④社会人としての一般常識に関する書籍

## 5 指導上の工夫

- ①基本的に毎日、指導教諭とのチームティーチングの体制を組み、授業内外の各種業務の総体を日常的、長期的に観察し、省察の機会を設定する。
- ②日々の記録、省察ができる独自のリフレクションシートを作成し、蓄積する。
- ③指導教諭以外の学級への授業参観を定期的に行い、教師としての視野を広げる。



## 平成27年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	伊達市立伊達小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

指導教諭によるジョブシャドーイング研修を通して、初任者に教師として必要な専門的知識及び基礎的技術を身に付けさせ、資質の向上を図るとともに、教育者としての立場や使命の自覚を習得できるようにする。

## 2 指導体制

指導体制の種類	A	初任者指導教諭名	加藤 智恵美	
Dの具体的な体制				

※ 指導体制の種類は別紙3の留意点にあるA～Dから選択してください。B、Cを選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。Dを選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役職等	主な役割
校長	初任者の育成に係る方針の提示及び初任者の育成に向けた学校体制・取組の統括、初任者への講話
教頭	実施計画の整備、初任者の育成に向けた取組の進行管理、関係教職員への指導、初任者への全体指導
初任者指導教諭	初任者との日常的なチームティーチングによる授業 学級経営全般についての指導及び助言、研修の指導計画の作成 初任者の省察を促す記録化、リフレクションの指導
教務主任、 研修主任等	初任者の育成に向けた取組の校内教職員、保護者等への周知 他校の公開研究会や合同研修への参加に係る連絡・調整 他学級への授業参観の調整、初任者への本校の授業研究等についての説明
同学年の教諭	初任者への定期的な授業公開、協議

## 4 使用するテキスト、教育書

- (1) 学校教育の手引き～新しい先生のために～（北海道教育委員会）
- (2) 小学校学習指導要領（文部科学省）
- (3) 授業づくりに関する書籍
- (4) 学級経営に関する書籍
- (5) 児童理解及び児童との人間関係づくりに関する書籍

## 5 指導上の工夫

- (1) 基本的に毎日、指導教諭とのチームティーチング体制を組み、授業内外の各種業務の総体を日常的、長期的に観察し、省察の機会を設定する。
- (2) 日々の記録、省察ができる学校独自で作成したリフレクションシートを使用し、蓄積する。
- (3) 指導教諭以外の学級への授業参観を定期的に行い、教師としての視野を広げる。
- (4) 指導教諭以外の経験ある教員の講話を聞く機会を定期的な設け、教師としての基礎的知識の蓄積を図る。

## 平成27年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	旭川市立啓明小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

指導教諭によるジョブシャドーイング研修を通して、初任者に教師として必要な専門的知識及び基礎的技術を身に付けさせ、資質向上を図るとともに、教育者としての立場や使命の自覚を習得できるようにする。

## 2 指導体制

指導体制の種類	A	初任者指導教諭名	宇野 弘恵	
Dの具体的な体制				

※ 指導体制の種類は別紙3の留意点にあるA～Dから選択してください。B、Cを選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。Dを選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役職等	主な役割
校長	初任者の育成に関わる方針の提示及び初任者の育成に向けた学校体制・取組の統括 初任者への講話・助言
教頭	実施計画の整備、初任者の育成に向けた取組の進行管理、関係職員への指導 初任者への全体指導
初任者指導教諭	初任者との日常的なチームティーミングによる授業 学級経営・授業全般についての指導及び助言、研修の指導計画の作成 初任者の省察を促す記録化、リフレクション指導 社会人及び教師としての在り方の指導 効果的な研修への参加について
教務主任、 研修主任等	初任者の育成に向けた取組の校内職員、保護者への周知 他校の公開研修会や合同研修会への参加に関わる連絡・調整
同学年の教諭	初任者への定期的な授業公開、協議

## 4 使用するテキスト、教育書

- ・教育者の全集・DVD
- ・授業づくり、教材研究に関する書籍
- ・学級経営に関する書籍
- ・児童理解に関する書籍
- ・特別支援教育に関する書籍
- ・教師論に関する書籍

## 5 指導上の工夫

- ・毎日、指導教諭とのチームティーミングの体制を組み、授業内外の各種業務の総体を、日常的、長期的に観察し、省察の機会を設定する。
- ・日々の記録、省察ができるリフレクションシートの作成と蓄積を行う。
- ・日常的な省察を横断的に行うと同時に、「学級通信」「指導言」等といった学級担任にとって必須の指導事項を縦断的に研修する。

## 平成27年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	帯広市立稲田小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

指導教諭によるジョブシャドーイング研修を通して、初任者に教師として必要な専門的知識及び基礎的技術を身に付けさせ、資質の向上を図るとともに、教育者としての立場や使命の自覚を習得できるようにする。

## 2 指導体制

指導体制の種類	A	初任者指導教諭名	西山 乙代	岩野 真志
Dの具体的な体制				

※ 指導体制の種類は別紙3の留意点にあるA～Dから選択してください。B、Cを選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。Dを選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役職等	主な役割
校長	初任者の育成に係る方針の提示及び初任者の育成に向けた学校体制・取組の統括 初任者への講話
教頭	実施計画の整備、初任者の育成に向けた取組の進行管理、関係教職員への指導 初任者への全体指導。
初任者指導教諭	初任者との日常的なチームティーチングによる授業実践。 学級経営全般についての指導及び助言、研修の指導計画の作成。 初任者の省察を促す記録化、リフレクションの指導。
教務主任、 研修主任等	初任者の育成に向けた取組の校内教職員、保護者等への周知 研修主任等他校の公開研究会や合同研修への参加に係る連絡・調整 他学級への授業参観の調整、初任者への本校の授業研究等についての説明
同学年の教諭	初任者への定期的な授業公開、協議。日常的に生徒指導や学級経営に関わる指導を受ける。

## 4 使用するテキスト、教育書

- (1) 教育者の全集
- (2) 授業づくりに関する書籍
- (3) 学級経営に関する書籍
- (4) 児童理解及び児童との人間関係づくりに関する書籍
- (5) 平成27年度学校教育の手引き ―新しい先生のために―

## 5 指導上の工夫

- (1) 基本的に毎日、指導教諭とのチームティーチングの体制を組み、授業内外の各種業務の総体を日常的、長期的に観察し、省察の機会を設定する。
- (2) 日々の記録、省察ができるリフレクションシートを作成し、蓄積する。
- (3) 指導教諭以外の学級への授業参観を定期的に行い、教師としての視野を広げる。
- (4) 校外での研究会等に他の教諭とともに積極的に参加させ、研修を深め、参観授業等をもとにした指導を受ける。

## 平成27年度 ジョブシャドーイング実施計画

学校名	釧路市立芦野小学校
-----	-----------

## 1 基本方針

指導力のある教員が主任者をマンツーマンで指導し、効果的・効率的な研修を実施するとともに、学校における継続的・組織的な指導体制や初任者が研修に専念できる校内体制の整備を図ることにより、初任者の教科指導力・生徒指導力・学級経営力など、教員としての資質能力の向上に資する。

## 2 指導体制

指導体制の類型	C	初任者指導教諭名	渥美 清孝	岩崎めぐみ
Dの具体的な体制				

※ 指導体制の類型は別紙3の留意点にあるA～Dから選択してください。B、Cを選択した場合は、初任者指導教諭名を複数記入してください。Dを選択した場合、具体的な体制について記入してください。

## 3 校内体制の工夫

役職等	主な役割
校長	・ジョブシャドーイングの推進について明確なビジョンを明示する。 ・ジョブシャドーイングの推進について総合的な指導助言を行う。
教頭	・ジョブシャドーイングの推進について全体統括を行う。 ・ジョブシャドーイングの円滑な実施に向け、初任者指導教諭等と連絡調整を行う。
初任者指導教諭	・ジョブシャドーイングの年間指導計画に基づき、教科指導や生徒指導、学級経営の在り方などについて初任者に対して日常的、継続的に指導助言を行うとともに、初任者の姿から自己の指導の在り方について評価し改善を図る。
教務主任、研修主任等	・年間を通じた推進計画の立案や推進体制の整備、初任者及び初任者指導教諭への指導助言、管理職との連絡調整など、効果的なジョブシャドーイングの推進に向けて全体をマネジメントする。
同学年の教諭	・年間推進計画を踏まえて、学年としてのジョブシャドーイングに取り組むねらいを明確にするとともに、初任者の教員としての資質能力の向上に向けて、日常的な授業公開や教材研究・開発の方法の指示などの支援を行う。

## 4 使用するテキスト、教育書

- ・「小学校学習指導要領」（文部科学省）
- ・「小学校教育課程編成（改善）の手引き」（北海道教育委員会）
- ・「学級づくりで鍛える」（野口芳宏）
- ・「必ずクラスがまとまる教師の成功術～学級を安定させる縦系・横系の関係」（野中信行・横藤雅人）
- ・「子どもたちの小さなサインの気付きかたと対応のコツ～どの子どもも輝く学級づくり」（横藤雅人）

## 5 指導上の工夫

- ・初任者は、初任者指導教諭等の仕事をシャドーイングし、授業内外の各種業務の総体を常に間近で観察し、頻繁にリフレクションの機会をもつなどして初任者指導教諭等の指導法だけでなく、教師としての哲学・教育に対する理念を学ぶ。
- ・初任者が初任者指導教諭等から直接的に指導が受けられ、ジョブシャドーイングに専念できる体制をつくる。
- ・初任者は2年目からの独立を目指して、シャドーイングについてのリフレクションノートを作成し、自己の視点や気付き、指導教諭等からの指導を蓄積していく。
- ・初任者指導教諭等は、定期的に初任者の姿から自己の指導の成果と課題を明確にし、課題については管理職等からの指導助言に基づいて改善を図る。

## 4 取組・実践紹介

特色のある学校の実践を掲載（第2回推進協議会における学校からの提供資料による）

- ①旭川市立大有小学校（P16～17）
- ②大樹町立大樹小学校（P18～20）
- ③帯広市立稲田小学校（P21～23）

## ジョブシャドーイングの取組（初任者指導教諭部会）

旭川市立大有小学校

大野 美稚子

1 ジョブシャドーイングにおいて、初任者の学びが深まるための指導・記録上の工夫や留意した点

- (1) 学級・学年経営において、副担任としての位置付けと業務が明確になることで、学級や児童に主体的に関わることができた。

担任	副担任	備考
3年1組（初任3年目） 3年2組（中堅教諭） 4年1組（初任3年目）	ベテラン教員（初任者指導教諭） 初任者	ジョブシャドーイングは、3年2組で実施
5年1組（中堅教諭） 6年1組（中堅教諭） 6年2組（中堅教諭）	ベテラン教員（巡回指導教員） 初任者	ジョブシャドーイングは、5年1組で実施

- (2) チームによる学級・学年経営を目指し、積極的に学級経営に関わってきた。とりわけ、学力向上の取組を担当した。

※全校体制で実施した学習サポート

学習サポート	時期	内容
春のミニ教室	4月の家庭訪問の5日間	担任が家庭訪問に行っている間、希望する児童及びサポートを必要とする児童を指導する。
夏のミニ教室	夏季休業中の3日間	担任と共に学年別に指導する。
秋のミニ教室	9月の個人面談期間の5日間	担任が個人面談をしている間、希望する児童及びサポートを必要とする児童を指導する。
冬のミニ教室	冬季休業中の3日間	担任と共に学年別に指導する。
配膳時サポート	随時	担任が配膳指導中に学習室等で指導する。
放課後サポート	随時	担任と共に指導する。

- (3) 様々な授業の実践と研究授業に取り組んだ。

	T1として、単元の授業を指導した	習熟度別指導において1グループを担当した	研究授業
3年2組の初任者	国語14h, 社会14h, 体育10h	3年の算数200h	本校独自の授業改善の視点（15項目）に基づく研究授業をした。 国語「すがたをかえる大豆」、11月27日、交流授業で実施した。
5年1組の初任者	国語7h, 社会5h	5年の算数125h 6年の算数113h	研究主題に基づく研究授業をした。 算数「単位あたりの大きさ」、9月8日、実践発表会の公開授業として実施した。

2 ジョブシャドーイングを効果的に実施するための校内の指導・育成・研修体制等

- (1) 各分掌、学年、職員の協力体制

① ジョブシャドーイングのローテーション

1学期は、全て副担任をしている学級で学び、2学期以降は、所属する学年の学級をベースにしながらジョブシャドーイングする学級を計画的に変更し、多くのベテラン教員の学級経営や指導の様子を学ぶ機会を設定している。

② チームによる学級経営

担任が学級の全てを背負うことなく、副担任、学年主任と共に業務を分担するなどして、組織と

して学級経営をする体制づくりをしている。また、学級経営にあたり、全学級で統一的に取り組めるように、学級環境向上プランや授業力向上プラン、学力向上プランなどを分掌が作成している。

### ③ 組織的な分掌業務

分掌の業務が、それぞれの担当に委ねられることなく、部長・主任が指導・助言し、部として組織的に業務する体制をつくっている。業務推進会議、学校力向上委員会が中心となって、組織的な業務を推進している。

## (2) 若手教員の初任者への関わり方

① ユースチーム（メンターチーム）を組織している。同年代で構成されたユースチームによるメンター研修や親睦等、横のつながりを強化している。

② メンター研修は、隔週金曜日 16:00 に固定して実施している。演習や協議など実践的で準備が簡便な内容（全国学力・学習状況調査の問題へのチャレンジ、特別支援教育研修プログラムを活用した研修等）を中心にしている。また、若手教員の校外での研修会の還流、交流授業の指導案検討と事後研なども行っている。

## (3) 理想とする指導体制等

① 教科等の指導とともに、担任業務の全てを学べるようにする。

（ベースは副担任の学級と所属する学年ブロック）

② 初任者の学級における位置付けをしっかりとる。

③ 全校一丸となって人材育成する体制をつくる。

④ 高めるべき資質や能力を明らかにし、自己評価できるしくみをつくる

## 3 昨年度からの改善点（ジョブシャドーイング2年目の学校）

(1) 学級における副担任としての位置付けを1人で1学級から、ベテランと2人で3学級に変更した。

(2) 学習サポートを全校体制で実施するための実施要領を改善し、初任者の学習サポートに関わる業務を明確にした。

(3) 全学級で、共通化している学習規範と生活規範を見直し、重点化すると共に、指導要項をつくり、初任者も担任と同じように指導することができるようにした。

(4) 全学級で、教室環境の整備、板書やノート指導等を統一し、初任者も担任と同じように指導することができるようにした。

## 4 類型別のメリット（成果）・デメリット（課題）

### (1) 成果

① 類型はCとして計画したが、取組において、副担任としての位置付け（類型A）、学級担任による指導（類型B）、他の教諭等のシャドーイング（類型C）等を取り入れることになり、実質的には、類型D（その他）が、本校の実態に合っていることがわかった。

② 生徒指導部長が初任者指導教諭として指導することにより、児童との関わり方などの指導が充実した。

### (2) 課題

① 初任者指導教諭が、複数校を兼務していることから、学級の担任と初任者指導教諭とが、ジョブシャドーイングについて、十分に打合せをする必要がある。

## 5 ジョブシャドーイングの成果と課題について

① 2年目に学級担任となった場合、学級を経営していく上で、教科等の指導や生徒指導等の目標を明確にして、計画的に教育活動を推進することができる。

② 1年をかけて、学校運営や服務規律、学習指導要領、教育法規等を学ぶことができる。

③ 学校における人間関係を構築し、社会人として自立するための時間と心の余裕ができる。

### (2) 課題

① 初任者の授業スキルを向上させるために、T1や専科として授業する機会を多くつくる必要がある。

② 何がどこまでできるようになったのか、評価し、課題を明確にするために、若手教員が身に付けるべき資質や能力の評価規準を明確にする必要がある。

③ 2年次研修につなげていくために5年間の初任段階研修における役割を明確にする必要がある。

# 大樹小学校におけるジョブシャドーイング型初任者研修の実施経緯

平成28年2月1日  
大樹町立大樹小学校  
教諭 田村 哲也

- 1 本校における初任者教員の継続的な配置の根拠と現状及び今後について
  - ・学校力向上に関する総合実践事業（平成24年度より）  
→初任者を含む若手教員の積極的・継続的な配置。
  - ・初任4年目までの教員が8名  
異動2校目（5年目・6年目）の教員が4名 ※一般教員26名
  - ・若手教員の育成が本校の重要な課題であることを全教職員で共通理解する。
- 2 現在の初任段階研修（平成26年度より）の実施内容
  - ・現制度を理解した上での、初任者自身による見通しを持った業務と研修の推進
  - ・全教職員による共通理解と協力体制の構築

採用5年目までの教員（初任段階教員）に対して、5年間の段階的な初任段階教員研修を実施することとなった。

学校計画研修	1年次（年間150時間以上）	道教委計画研修	1年次（年間7日間程度）
	2年次（年間30時間以上）		2年次（年間3日間程度）
	3年次（年間30時間以上）		3年次（年間5日間程度）
	4年次（年間20時間以上）		4年次（年間3日間程度）
			5年次（年間2日間程度）

- 3 ジョブシャドーイング型初任段階研修（本事業）の概要
  - ・本研修の目的と意義、大まかな内容についての説明
  - ・全教職員による共通理解と協力体制の構築

初任者研修の抜本的改革に関する調査研究事業（平成26年度より）

- ①この調査研究事業の目的
  - ・文部科学省の委託（基本は単年度の委託事業）を受けて、「ジョブシャドーイング」の手法を取り入れた初任段階研修のモデルプログラムの試案を開発する。
- ②この初任段階研修のモデルプログラムの試案を開発しなければならない現状（理由）
  - ・今後10年間で約3分の1の教員が入れ替わる大量退職・大量採用期を迎える。
  - ・若手教員の資質能力向上のために、先輩教員や学校全体での指導體制の整備などを前提とした取組を推進する必要が急務である。
- ③「ジョブシャドーイング」の手法を取り入れた初任段階研修が目指すもの
  - ・学校における継続的な指導體制や初任者が研修に専念できる校内体制の整備を図るための取組を進めることを目指している。
- ④上記調査研究事業の実践校
  - ・「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校から、上記調査研究事業の実践推進校に位置づける（実践推進校5校、他に調査協力校5校）。
  - ・本校は2年目の取組
- ⑤具体的な取組内容
  - ・初任者は、1年間、原則として学級担任や単独授業は持たないこととし、毎日指導教員などとT.Tを組むなど、授業内外の各種業務の総体を常に間近で観察し、頻繁に省察の機会を持つなどして、指導教員の指導方法などを総合的・徹底的に研修させる。

ジョブシャドーイングとは～北海道教育委員会の考え方

同僚性のよさを生かす「学校力」と優れた指導力のある教師の指導技術等の伝承をはかる「教師力」を両輪に、初任者が指導教諭にぴったりと寄り添いながら学ぶこと。

そもそもは

米国で行われている子供向け職業体験プログラムの一種。子供が興味を持つ分野で働いている社会人に「影」のように密着して行動を共にし、その仕事ぶりや職場の雰囲気を観察する。（weblioより）

#### 4 本校におけるジョブシャドーイング型初任段階研修の主な取組内容

- ・ジョブシャドーイング型初任段階研修を、本校におけるこれまでの実践を踏まえて今年度も実施していくことを明確に示す。
- ・全教職員による共通理解と協力体制の構築

##### 基本的な研修内容

- |             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| ①学校計画研修     | ジョブシャドーイングを中核に据えた各種研修を実施する。 |
| ②道教委計画研修    | 当面、計画通りに実施する。               |
| ③メンターチーム    | 研修部を中心に実施する。                |
| ④初任者個人の自主研修 | 各個人の自発的な取組を行う。              |

#### 5 ジョブシャドーイング型初任段階研修に関する役割分担と主な業務内容

- ・複数体制で本研修を実施することで、本校として初任者研修の体制化を図る。
- ・日常業務にすることで取り組みやすさを促す。
- ・初任者の立場と役割、業務と研修を明確に示す。
- ・年間を通した見通しを初任者・全教職員が持つ。

##### (1) 各担当の主な役割と実践

- |              |  |
|--------------|--|
| ①初任者指導教諭     | ・初任段階研修の計画作成と推進<br>・リフレクションの指導と推進<br>・研修に関する助言や指導  |
| ②所属学級担任      | ・日々の授業の公開<br>・一部業務の分担<br>・授業や生徒指導及び各種業務などに関する助言や指導<br>・日々の授業や学校業務・教師像に関する指導や振り返り                                   |
| ③研修部         | ・メンターチームによる研修（月2回）   |
| ④初任段階教員（1年目） | ・T.Tを通しての授業の観察と分析<br>・学校業務全般に関する観察と分析<br>・一部の教科・単元の授業を担当<br>・一部の学級業務を担当<br>・分掌業務<br>・リフレクションの記入<br>・各担当者との話し合い及び反省 |

##### (2) 今後の取組

- ①他の学級における授業の参観（本校教諭）
- ②学校業務全般や授業及び生徒指導などに関するミニ研修（管理職・初任者指導教諭・学級担任・分掌担当者）
- ③各担当からの指導・助言及びその記録（各担当）
- ④他の分掌及び業務全般の観察（本校教職員）
- ⑤地域・保護者・児童への周知（管理職・教務部・初任者指導教諭）
- ⑥成果と課題の検証（初任者指導教諭・所属学級担任・初任段階教員）
- ⑦実践報告（初任者指導教諭）

#### 6 校内における学期ごとの具体的な取組内容

##### 1 学期

- (1) 学校計画研修
- (2) 所属学級を中心としたジョブシャドーイング（試行段階）
- (3) T2としての授業支援
- (4) メンターチームによる校内研修

## 2 学期

### (1) 本格的なジョブシャドーイング

- ①リフレクションメモの作成
- ②リフレクションメモ助言者記入
- ③助言者割り当て（複数体制・複数の視点）

	月	火	水	木	金
担 当	学校長	初任者指導担当	所属担任	教 頭	メンター担当
回 数	毎 週	毎 週	毎 週	毎 週	月 2 回程度
視 点	・教師としての姿について	・学校業務全般について	・授業全般、生徒指導、児童理解について	・その他	・その時の講習内容について

### (2) 授業参観

- ①9月中旬から初任者が各学級の授業を参観する。
- ②特別支援学級の授業に関しては学習発表会終了後に授業を参観する。
- ③専科の授業については12月下旬に参観。
- ④授業者は、参観した初任者のリフレクションノートにアドバイスを記入する。
- ⑤原則全教職員が初任者研修との関わりを持つ。（初任者研修の仕組みを全校体制へ）

### (3) 授業実践

- ①所属学級で特定教科、または一単元の授業をT1として実施する。
- ②日常のジョブシャドーイングや授業参観で学んだことを生かして、授業を行う。

### (4) T2としての授業支援

### (5) メンターチームによる校内研修

## 3 学期

### (1) 授業研究

初任者が、これまでのジョブシャドーイングを中核に据えた研修や各種実践を踏まえて、授業研究及び授業公開をする。

- ①初任者自身が1教科から1単元を選択し、教材研究を行う。
- ②単元前半から1回（プレ研）、後半から1回（本研）の計2回を授業公開する。
- ③他の授業も公開とし、可能な範囲で多くの教職員の方に参観を依頼する。
- ④授業後には参観者と事後研究を行い、授業内容・実践力について助言を求める。
- ⑤メンターチームは、この授業研究を研修に生かせるように取り組む。

### (2) T1としての授業実践

### (3) ジョブシャドーイング

### (4) T2としての授業支援

### (5) メンターチームによる校内研修

## 7 評価

今年度1年間を通して、ジョブシャドーイング型初任者研修における評価・反省を実施する。

時 期 3月

- 内 容
- ①初任者自身による自己評価・反省（アンケート・担当者とのリフレクション）
  - ②直接初任段階研修に関わった関係者による初任者評価（評価会議）
  - ③全職員による本事業に対する総合評価（アンケート）